

卒業研究

講師名	小田島 裕	実務経験等	農業改良普及センターでの普及指導員としての経験を活かし、卒業研究に向けた調査・試験等について指導する。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専攻科目	農産園芸・野菜	必修	2	通年	120	4
使用教科書・副教材	必要に応じて指示する。					
授業の目的	講義や専攻実習により得た専門知識と技術を活かし、自ら作成した卒業研究計画に基づいて栽培管理や調査を実施し、結果をとりまとめ考察を行うことにより、自己管理能力や課題解決能力を養う。					
授業の到達目標	自ら作成した卒業研究の計画に基づいて栽培管理や調査を実施し、結果をとりまとめ考察を行うことができる。					

月	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4～9月	進捗管理とデータ集計	進捗管理、調査手法及び各種調査データの集計方法を習得する。 (4/30,6/1,6/29,8/31,9/30)	12	演習	調査データ
6月	現地検討会①	現地検討会で卒業研究の試験区の設置状況及び中間成績について説明し、助言をもらうことにより、調査手法及び各種調査データの集計方法について理解を深める。(6/29)	4	実習	圃場看板 検討会資料
9月	現地検討会②	現地検討会で卒業研究の試験区の設置状況及び中間成績について説明し、助言をもらうことにより、調査手法及び各種調査データの集計方法について理解を深める。(9/7)	4	実習	検討会資料
10月	中間成績の取りまとめ	卒業研究の目的、概要、試験の中間成績を取りまとめたパネルの作成・展示及び現物展示を行い、農大祭来場者に解説することにより、プレゼンテーション手法を習得する。(10/27,29)	8	演習	展示用パネル 現物展示
11～12月	卒業研究の取りまとめ、発表	卒業研究の取りまとめにより、調査データの解析と考察手法の理解を深めるとともに、パワーポイントによる資料作成及びプレゼンテーション手法を習得する。 (野菜経営科の科内卒業研究発表会 12/1) (卒業研究全体発表会 12/16)	66	演習	発表会資料 (パワーポイント)
1月	卒業研究集録、抄録の作成	卒業研究集録及び抄録の作成により、研究成果のとりまとめ手法を習得する。 (提出期限1/29)	26	演習	卒業研究 集録、抄録
合計			120	時間	

成績評価の方式(テストの有無、評価の観点、割合等)

提出物の内容、出席状況、受講態度、プレゼンテーション技術により評価する。
 論文: 60%(試験目的、試験設計、調査手法、データ解析、結果の取りまとめ、考察)
 平常点: 40%(出席状況、受講態度、プレゼンテーション技術)

履修に当たっての留意点等

自らが主体的に研究課題に取り組み、栽培管理作業や調査の計画・立案を行い計画的に進めること。
 担当する品目や課題により繁忙期が異なることから、他の学生の研究内容を理解し、お互いに協力して栽培管理作業や調査に取り組むこと。